



西川町のまち自慢 1位:人柄 2位:月山 3位:水、山菜・きのこ

月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッさん」

NETWORK

にしかわ

2021

令和3年

3月号

No.780

結構なお点前で・・・



- 主な内容 -

- P2 | 月山志津温泉雪旅籠の灯り
- P4 | 商工観光振興懇談会
- P14 | 新型コロナウイルスワクチン接種について
- P15 | 第38回読書感想文・感想画コンクール



2月6日~28日、「月山志津温泉雪旅籠の灯り」が開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、入場を宿泊者に限定しての開催となりました。

降り積もった雪を活用して、高さ5mの雪旅籠3棟を設置し、三山参りなどで賑わった旅籠町を再現。日が落ちてろうそくの火が灯されると、会場にはロマンティックな景色が広がりました。

六十里越街道雪祭り 月山志津温泉 雪旅籠の灯り





大きな社会の変化が起こった コロナ禍の1年を振り返って...

【座長あいさつ】
黒坂会長

新型コロナウイルスの感染拡大が始まり約1年が経過し、町内経済にも大きな影響を及ぼしています。今回は関係機関の対応を振り返るとともに、反省点や今後どうすべきかなどについてご意見をお聞きし、次年度の対応の軸として考えています。

昨年2月頃から国内で新型コロナウイルスが流行を見せ、商工会としてまず町や観光協会と連携して支援チームを立ち上げ、町内事業者の



これまでの対応をお互いに確認し
ウイズコロナ、アフターコロナにおける
これからの西川町について意見交換
～西川町商工観光振興懇談会～

古澤コーディネーター
はじめにこれまで行ってきた支援への評価やご意見をお聞きます。

小川町長に地方創生臨時交付金などを活用した、町の取り組みについてお聞きます。

きめ細やかな情報発信と町内消費の拡大を支援
小川町長
今年度は新型コロナウイルスに加えて、これまでに経験のない災害に見

皆さんの状況を把握するとともに、対策を行ってきました。きめ細かな対応を行い、商工会会員のなかに廃業などに至る方はおらず、結果としては大きな効果があったと感じています。支援チームは事業者の皆さんから頼りにされる存在となりました。

新しい生活様式がこれからの当たり前になっていきます。そのような状況の中でさらなる支援が欠かせないものになると考えています。そのためにもそれぞれの立場からご意見をお願いします。

舞われました。そのようなことから次年度予算については災害、コロナ対策が大きな割合を占めることになりました。まずは通常の生活を取り戻せるよう、迅速な復旧を目指しています。

コロナ対策については町民の皆さんへの情報発信が最も大切と考えています。特に支援策や給付金については国などもこれまでにないほど幅広い対策を行なっています。これらの情報をいかに知ってもらい、申請し、活用してもらうかが重要です。そのため商工会を中心に町や観光協会が連携し、各金融機関の協力を得ながら、様々な支援を行ってきました。支援チームの取り組みにより他の市町村にはないきめ細かな対応ができたかと思

町内産業を守っていくためには町民の皆さんに町内の商店や産品を愛



西川町商工会新型コロナウイルス対策支援チーム

4月14日、新型コロナウイルスの感染が広がる中、厳しい経営状況の町内事業者を支援するため町や月山朝日観光協会など関係機関と連携し、「西川町商工会新型コロナウイルス対策支援チーム」を町商工会内に設置しました。

支援チームでは各事業者を訪問して、経営状況や必要とする支援について聞き取りを実施。融資・支援制度などに関する周知広報や申請の補助、感染症対策徹底のための巡回・啓発、SNSを活用した情報発信に取り組んできました。

官民が一体となって情報を共有することで、事業者に寄り添った相談体制が継続されています。

新型コロナウイルスの国内での感染が確認されて、1月15日で1年が経過しました。その間、感染は拡大し、経済や生活など様々な面で大きな影響を及ぼしています。

こうした中、感染拡大の影響を受け、厳しい経営状況に立たされている事業者への支援策として、町商工会が主体となり、町行政と月山朝日観光協会とともに「西川町商工会新型コロナウイルス対策支援チーム」が設置され、町民に寄り添った官民一体の相談窓口として活動してきたことは以前紹介したところです。

2月17日、西川町商工会館でコロナ禍での振興策を語り合う懇談会が開かれました。懇談会では昨今のコロナ禍の状況を踏まえながら、これまで行われてきた経済対策や事業所への支援について振り返るとともに、現在のコロナ禍を乗り切るための対策やアフターコロナを見据えた取り組みについて語り合いました。

対談者
西川町商工会会長 黒坂久一
西川町長 小川一博
月山朝日観光協会会長 奥山悌二
山形銀行西川支店支店長 鈴木大介
きらやか銀行間沢支店支店長 尾崎貴志
コーディネーター
古澤準一(山形県商工会連合会)

※順不同・敬称略

用して、消費してもらおうことが大切になります。昨年、町内商店などで使用できる食事券や買い物券を配布しましたが、町内消費の拡大につながったとともに、町民の皆さんに町内の商店や飲食店の魅力を改めて感じてもらうという面でも効果があつたようです。そのような面からは新型コロナウイルスは大きなダメージもありましたが、新たな可能性を見つづけるきっかけにもなつたと思います。

今後、コロナ対策を進めていくには町民一丸となれる環境をいかにしてくれるかが大きな課題です。今後も商品券や月山フレカの取り組みなど町民に寄り添つた支援を行つていきたいと考えています。

支援チームの活動を評価…事業者の存続につながる

黒坂会長

コロナ対策については支援チームが積極的に動くことで、会員の皆さんにも広く支援制度について知っていただき、きめ細やかな対応を行うことができたと感じています。次から次へと新しい施策や支援策が出される中で、事業者だけでなく消費者にも戸惑いが



しても取引先を回つてサポートを行つてきました。

当初は飲食業や観光業などへの影響が大きかったのですが、中国の生産ストップなどを受けて建設業にも影響が出始め、その後、製造業など幅広い業種に影響が広がりました。

1年を経過し、業種や事業形態により回復の状況に大きな差が生まれていると感じています。

多くの融資制度が事業継続の助けになつたと思いますが、返済の据え置き期間が終わる2年後には事業者にとつて大きな負担となることが予想されます。そのため金融機関としても経営改善支援などお手伝いをしていきたいと考えています。

また、コロナ禍で事業者の皆さんには新しい生活様式にあつた業態変換や経営の見直しなどが必要となつていま

生じていたようです。

町が行なつた食事券と買い物券の配布については、用途を分けて発行したことで、生活必需品などに利用が偏ることなく、幅広い事業者の支援につながつたことがよかつたです。今後、プレミアム商品券についても、幅広く使われるような対策を行つていきたいと考えています。

厳しい状況の中、町内で廃業などを選ぶ事業者がいなかつたことは大きな成果でした。関係機関と行政が情報を共有し、連携していくことが大切だと感じたところです。このつながりを今後にも生かしていきたいです。

古澤コーディネーター

昨シーズン日本一の月山雪国宣言を行い、冬の観光をスタートした直後に新型コロナウイルスの感染拡大となりました。観光業については特に影響が大きかつたと思いますが、現状や取り組みについてお聞かせください。

苦境に立たされた観光業…新たな魅力で前進

奥山会長

新型コロナウイルスの感染拡大は考えてもいないことで、突然お客様がゼロになつてしまつたという状況でした。増えつあつたインバウンドのお客様もほとんどなくなり、西川町の一番の書き入れ時となる5月の連休もほぼお客様がいない状況でした。

す。今後はそのための支援も必要になつてくるのではないのでしょうか。

資金需要の大切さを痛感…あらゆる面で支援を継続

尾崎支店長

各融資制度に多くの申し込みがあり、町内事業者の新型コロナの影響による資金需要の大きさを感しました。

飲食・宿泊業への影響が目立りましたが、町内では建設関連事業者からの融資申し込みも多い状況でした。その中で各種支援策は飲食・宿泊を対象にしたものが多かつたのですが、新型コロナウイルスの影響は建設関連の事業者などにも広がつており、広い分野での対策が必要だと感じています。

町と商工会による支援チームについては、連携し情報を共有することで、事業者が必要としている支援策に結び



GOTOキャンペーンなどの効果もあり、夏から秋には例年の7〜8割程度まで客足が戻り始めましたが、その後の感染拡大を受け、振り出しに戻つてしまつた状況です。観光面では前年と比べると4〜5割程度という状況でしょうか。

厳しい状況の中で町や国などの支援は多くの事業者にとつて大きな助けとなりました。

昨シーズンの日本一の月山雪国宣言に続き、今シーズンは月山スノーランドがオープンしました。コロナ禍で厳しい船出となりましたが、マスコミの取材も多く、注目を集めています。月山志津温泉雪旅籠の灯りも、感染対策をしっかりと行い開催しました。例年に比べると小規模になりましたが、冬の月山の魅力を発信する効果は大きいと思います。



つけることができ、大変良かつたという声が多く聞かれました。

2年後には融資の返済が始まるかと思いますが、事業者には、利益を出して返済していく体質づくりが求めら

アフターコロナを見据えて…

今後の商工観光振興の取り組み

古澤コーディネーター

続いて今後の取り組みや方針についてご意見をお願いします。新しい生活様式への対応や働き方の変化、デジタル化の推進など新型コロナにより社会では大きな変化が起つています。

そのような中で町の産業振興をどのように進めていくか小川町長にお聞きします。

町民一丸・総合産業化で邁進…コロナ禍を経験と捉えて

小川町長

まちづくりの中でも産業の振興をいかに図っていくかは大きな課題です。地域の資源をいかにフル活用するかが重要であり、総合産業化に取り組んできました。町内で最も多くの方が関わる農業、町のシンボルである月山を活用した観光、これらの産業で町が潤い町内に経済の循環が生まれることで地域



冬期間観光の目玉として12月にオープンした月山スノーランド



感染防止対策を行い、新たな形で開催した第16回雪旅籠の灯り

西川町の観光を盛り上げていくためには、弱点となつていた冬を強みに変え、通年観光を実現していくことが必要です。そのためにはコロナ後を見越して月山を中心とした西川町の魅力を発信していくことが重要だと感じています。大変な中でも希望を持って、前向きに取り組んでいます。

古澤コーディネーター

商工業にとつて資金繰りなど金融機関との繋がりは欠かせないものです。1年を振り返り、支援策の効果や事業者との関わりの中で聞かれた意見をどうお聞かせください。

融資面でサポート…さらなる事業継続の手助けを

鈴木支店長

新型コロナ対策として新たな融資制度などの支援策が出され、金融機関と

れていきます。銀行としてもイベント的な対策ではなく、継続して利益を確保できるように経費削減や販路拡大などの面から支えていきたいです。

を持続していけると考えています。

一つの産業活動に関係機関が一緒に取り組んで力を出し合うのが総合産業化です。今回の新型コロナ対策では、商工会、金融関係、町が連携して取り組んだことで町民の皆さんに信頼感が生まれましました。まさに総合産業化の一





月山登り口での検温・問診の様子

つの形だと感じています。今後も様々な事業で関係機関が連携し、新型コロナウイルスという大きな困難を町民一丸となつて乗り越えていきたいです。また、昨年は感染により町のイメージを落とさないということを一番に考え、月山の登り口での検温・問診や町内宿泊施設などへの検温器の配布などスピード感を持って対策に取り組みました。そのことでマイナスをプラスに転換して発信できたと思います。大変な状況ですが、コロナ対策はこれからのまちづくりを考えていく上で大きな経験となりました。コロナ対策にかかる国の第3次補正予算で西川町への配分は約1億円にな

る見込みです。職種に限った活用ではなく町民全体が効果を感じられる対策に利用していくことが必要だと考えています。商品券やフレカポイントなど町民の皆さんに広く活用していただき、町内商店との接点になるような取り組みをさらに進めていきます。災害なども重なり財政も厳しい状況ですが、感染予防と経済活動とのバランスをとりながら、町民の皆さんに理解を得られるような支援が必要だと考えています。

古澤コーディネーター

コロナ対策により小規模商工会には業務が増え大変な状況かと思えます。そのような中、商工会では今後どのような活動を考えていますか。

物販・イベント・デジタル化を推進…経営発達支援計画で着実に

黒坂会長

コロナ禍の先行きが不透明で方向性が定められない状況であり、やりたいことをやれない状況が続いています。経営発達支援計画による事業展開を進めており、脱落する事業所がないようにしっかりと支援することが一番と考えています。そのためにもコロナ禍で動きにくい状況ですが販路拡大やPR活動にも努め、外貨獲得につなげていきたいと考えています。昨年は中止となりましたがまるごと西川三山祭りなどイベントも予定

しています。新しい生活様式に対応したイベントのあり方を検討し、賑わいを創出していきたいと思えます。新型コロナウイルスにより様々な場面でデジタル化が急速に進んでおり、町内事業者が乗り遅れることがないように支えていくことも重要と考えています。

小規模な事業所でも新型コロナウイルスに負けないよう、きめ細やかな対応を続けていければと考えています。

古澤コーディネーター

通年観光へ向けたPRや質の高い観光の実現に向けた取り組みを行ってきたことですが、今後どのような展開を考えていますか。

積極的な誘客でレジャー需要に応える姿勢を構築

奥山会長

今後もしばらくはコロナ禍による厳しい状況が続くことが予想されますが、町外からいかに誘客し、外貨を獲得するかという、西川町の観光の課題は変わりません。ワクチン接種なども準備が進んでおり、秋頃には旅行業界が動き出すのではないかと見通しも出されていますので、まずはマイクローリズムとして、県内や隣県など近場からいかに誘客するかを考えています。アフターコロナに向けた様々な見通しも出されていますが、これまでと同

が欠かせないと思えます。金融機関の視点から今後の見通しなどをお聞かせください。

デジタル化など経営改善の支援も

鈴木支店長

コロナ禍で、銀行には企業支援など幅広い機能が求められていると感じています。安定した事業継続を実現するため、経営改善やコスト削減など様々な提案を行いながら寄り添っていきたくと考えています。今後は町内の事業者についてもデジタル化への対応が求められます。ホームページの充実やネット上での注文受付などにも対応できるような支援が必要になると思えます。

商工会や町との連携をさらに強化

尾崎支店長

銀行自体も経営の効率化などから融資や営業などの機能が寒河江市の支店に統合される状況です。これまでと変わらない対応をしたいと考えていますが、商工会や町との連携がますます必要になってきますので、協力をお願いいたします。また、銀行のサービスもアプリで申し込みを受けられるなど急速にデジタル化が進んでいます。町内事業者においてもデジタル化への対策を行い、乗り遅れないよう、行政などによる支援も必要になってくるのではないのでしょうか。



仙台市内で行われた催事の様子

じような状況に戻ることは難しいようです。しかし、レジャーに対する需要は無くならないと思えますので、新しい様式の中で月山の持つ楽しさなどを発信し、受け入れ態勢を整備していく必要があります。観光協会としても法人化したことにより、旅行業の登録を行い、組織的な誘客が可能になっています。今後は営業体制を整備し、積極的な誘客に取り組む予定です。また、会員事業者においてもそれぞれが積極的に誘客に取り組む姿勢を作っていくことが必要だと考えています。

古澤コーディネーター

事業者には今後も金融機関の支え

コミュニティの重要性…お互いに顔の見える取組みを

小川町長

新しい生活様式やデジタル化が広がる中で、顔の見える人との付き合いが少なくなったように感じます。商工観光では売主と買主の信頼関係が大切です。価格の安さでは大手スーパーやネット通販にはかないませんが、人と人の信頼は町内事業者の強みになると思えます。フレカを使ったポイント事業など町民の皆さんが町内事業所を利用するきっかけとなるような事業を進めていきたいと考えています。

アイデアを持って業態変換にも挑戦

鈴木支店長

新型コロナウイルスにより直接大きなダメージを受けたのが飲食店です。特に夜の宴会などは現在も回復せず、売り上げの減少につながっている状況です。会合や懇親会などの席も1年ほど全く行われていませんが、感染対策を徹底した新しいルールによる開催を進めてもいいのではないのでしょうか。町民同士のコミュニケーションを守るためにも必要になると感じます。

古澤コーディネーター

本日は貴重な意見ありがとうございました。皆さんからの意見を活かし、新年度、アフターコロナに向けて頑張っていきたいと思います。

◆これまで展開された経済対策一覧

【クーポン、商品券関係】

支援項目	実施主体	対象者	期間	内容	加盟店数(町内)
西川町プレミアム付商品券 20%	商工会	町民及び町内勤務者	2回にわたり販売	①2,000セットR2.4.24~8.31 @5セットまで ②3,000セットR2.5.8~8.31 @トータル5セットまで ※換金率99.3%	62事業所
月山フレカポイントセール及びラッキー7買物ラリー	フレカ加盟店	フレカ会員(1,276人)	R2.4.24~R3.3.31 R2.11.7~(1ヶ月間)	キャンペーン(付与ポイント5倍)の延長。 加盟店7店舗で700円(税込)以上で→700P進呈)	22事業所
県プレミアムクーポン券(プレミアム100%)	県(委託:商工会)	町民(エリア限定)	R2.10.27~R3.2.14	町単位のエリア限定版。1シート2,000円を1,000円で販売。購入した店舗でのみ使用できる。西川町では、10月27日より販売開始。	39事業所
地域経済元気回復キャンペーン	商工会	県民	R2.6.1~R2.6.30	お買い物500円以上のご利用の場合抽選券を配布。抽選で112名に町内で使える12,000円商品券を進呈。	39事業所
Go Toトラベル地域クーポン	国	県民及び隣県	R2.10.1~R3.1.31	宿泊した場合に、宿代の15%を隣県地域で使用できるクーポン(飲食、お土産)発行にて補助。紙・電子あり。	33事業所
やまがたGo To イート(プレミアム25%)	国	県民	R2.11.26~R3.3.31	県内で登録されたお店で使えるプレミアム商品券を発行。11月2日より加盟店募集開始。11月26日よりヤマザワ各店、郵便局の一部でプレミアム券を一斉販売。	現在登録中
宿泊飲食商品券	町	全町民	R2.5.22~R2.8.31	町内宿泊飲食店で使用できる商品券を町民一人当たり3,000円分配布 ※使用率(換金率)95.5%	41事業所
飲食小売店等商品券	町	全町民	R2.10.16~R2.1.17	町内飲食小売店等で使用できる商品券を町民一人当たり3,000円分配布。※使用率(換金率)97.02%	65事業所

【宿泊割引関係】

支援項目	実施主体	対象者	期間	内容	加盟店数(町内)
県民泊まって『応援』キャンペーン(クーポン付き)	県	県民	①R2.6.15~12.27 ②R3.1.26~3.31	県民が事前に指定した県内の旅館・ホテルで利用できる5,000円分の宿泊割引クーポンの発行。	14事業所
県民泊まって『元気』キャンペーン	県	県民	①R2.7.10~12.27 ②R3.1.26~3.31	県内宿泊施設で使える1,000円分のクーポンを500円で発行。一人1回当たり10枚まで、もしくは購入金額の半分までの内どちらか少ない方が上限。	12事業所
Go Toトラベル	国	国民	R2.7.22~12.27	宿泊代金の半分の割引。宿泊代35%、残りの15%は地域クーポンを発行。	14事業所
「月山これよろ」キャンペーン	観光協会	対象事業所の宿泊者	夏:R2.7.10~8.31 秋:R2.10.1~11.22 冬:R2.12.11~	参加する事業所の宿泊者に対し、その宿泊料金の3,000円を割引。	22事業所

【その他】

町内キャンペーンまつり	支援項目	支援項目	対象者	期間	内容	加盟店数(町内)
新そばまつり	月山山菜そば組合	一般	R2.10.24~11.2	町内産の新そばを使った新そばまつり第2弾。 【期間中の販売総数7,891食】	14店舗	
モウモウまつり	モウモウ実行委員会	一般	R2.11.2~11.22	第24回目の西川牛モウモウまつり3,500食提供。 1800円(税込)/1食。志津大井沢の宿泊施設も参加。	14店舗	
三酒で乾杯	町	3人以上の団体	R2.8.1~11.30	3人以上の団体の宿泊・会食の際に、人数に応じて三酒を提供。 ※使用率(換金率)95%	23店舗	



月山ふれあいカード加盟店会ポイント5倍キャンペーン
令和2年度からフレカカードがリニューアル。キャンペーンの効果もあり、会員が1200人を超えています。

これまで展開されたキャンペーンなど経済対策一覧

町内のお店で使える商品券を配布
全町民に町内の飲食店やお店で使える商品券(1人あたり3,000円分)を発行しました。大変好評で多くのお店で利用していただきました。
好評につき、現在、第3弾となる商品券を配布しています。



月山これよろキャンペーン
旅行者の呼び戻しを図るため、宿泊割引キャンペーンを季節の移り変わりに合わせて実施しました。



地域経済元気回復キャンペーン&西川町プレミアム付商品券の発行
町内で使える商品券が当たる抽選会の開催や2割もお得になるプレミアム付き商品券を販売。好評につき追加販売も行われました。



西川町商工会新型コロナウイルス対策支援チームでは、引き続きSNSを活用した情報発信を行っています!
この対策支援チームでは、“コロナ対策なんでも相談”を支援の柱に、官民一体の寄り添った相談窓口としてSNSを活用した情報発信を行っていますので、ぜひ一度ご覧ください。



いいね!を押してみんなで西川町を応援しよう。

三酒で乾杯キャンペーン
飲食店の利用拡大を目的に行なったキャンペーンです。
3人以上の団体を対象に、人数に応じて地酒・地ワイン・地ビールが提供されました。



月山山菜そば組合新そばまつり
昨年と違い、感染症対策を徹底しながら月山山菜そば組合員の各店舗で新そばが提供されました。



協働通信

VOL.165

情報の共有をめざして!

正しい知識を学んで 増加するイノシシによる被害を防ぐ

2月12日、山形県が主催するイノシシ被害防除研修会が、町役場で開かれ、猟友会会員など25人が出席し、イノシシによる農産物への被害を防ぐための対策などを学びました。

新型コロナウイルス感染症防止のためリモート形式で開催され、講師の東北野生動物保護管理センターの宇野壮春さんと回線をつなぎ、イノシシの生息域や被害の現状、有効な対策などについて学びました。宇野さんは「イノシシ



研修会の様子

シの習性など正しい知識を持って対策を行うことが重要です」と呼び掛けました。

町立病院の今後のあり方について 検討委員会から答申書が提出される

2月26日、「町立病院あり方検討委員会」から小川町長に、答申書が提出されました。

同委員会は、少子高齢化や人口減少が進む中、町唯一の医療機関である町立病院が将来的に担うべき役割や経営のあり方などについて意見を伺うため設置され、9月から4回の会合を開き、検討を進めてきました。

当日は委員長の荒木多門さんが「財政面の課題もあると思うが、広域的な視点も取り入れな



荒木委員長から答申書が手渡された

が、町民の求める医療体制を守ってほしい」と語り、小川町長に答申書を手渡しました。

心温まる川柳を まとめた句集が完成

柳号・2代目 閑魚として川柳の作句や指導などを行う佐藤昇一さん(間沢)が、これまでの作品をまとめた句集「鰻登」を発売しました。

祖父や父の影響で17歳頃から俳句に親しんだ佐藤さんは、庶民の暮らしや家庭の温かさを詠む川柳のおもしろさに惹かれ、作句を始めました。家庭内のできごとなどを題材に毎月10句以上を作り、これまで詠んだ句は1万句を超えるそうです。

今回の句集には川柳仲間の佐藤幸吉さんから協力を得て約千句を選び掲載。佐藤さんは「ペンと紙があれば世界に一つの作品ができる川柳の楽しさを多くの方に知っていただき、町が誇れる文化として地域を元気にしていきたいです」と話してくれました。



句集を発売した佐藤昇一さん

コミュニティスクールの方向性を検討 学校運営協議会を開催

コミュニティスクールのあり方などを協議する学校運営協議会の今年度2回目の会議が、2月25日、役場で開かれました。

協議に先立ち伊藤教育長が「コミュニティスクール導入から5年が経過し、町内での理解も高まり、学校教育活動に良い効果が表れている。次年度からはもう一つの目的である地域の活性化につながる取り組みを入れたいと考えています」とあいさつ。その後、小・中学校ご



活発な協議が行われた

とに分かれて分科会が開かれ、来年度の学校経営方針や今後の取り組みの進め方などについて協議が行われました。

さらなるコミュニティ活動の 振興を目指して

大井沢区で、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業の宝くじ助成金を受けて、「音響設備や照明設備の整備」を行いました。(写真参照)

今後は大井沢区の秋祭りや火渡り神事などで活用していくことで、地域の伝統行事が受け継がれていくことが期待されています。

新型コロナウイルス感染拡大により今年度は中止になりましたが、この度の整備により、より



助成を受けて整備された物品

一層素晴らしいお祭りが開催されることを期待します。

西川小学校の環境美化活動が 環境美化教育優良校等表彰を受賞

公益社団法人食品容器環境美化協会が主催する、「環境美化教育優良校等表彰事業」で、西川小学校が「優秀校 協会会長賞」を受賞しました。

同協会は清涼飲料・ビールなど飲料業界6団体で構成する団体で、飲料容器の散乱防止を中心に様々な環境美化の啓発活動を行っています。環境美化教育優良校等表彰事業はその取り組みの一環で、地域社会と連携しながら環境美化教育に独自の・継続的かつ熱心に取り組み、公共の場所の美化や飲料容器などのリサイクルを実践し、地域の環境美化に大きく寄与する小・中学校を表彰しています。本年度は各都道府県から推薦のあった小・中学校から最優秀校4校、優秀校6校、優良校21校が表彰を受けました。

西川小学校は開校当初から寒河江川の水質調査を通じて自分たちが暮らす地域の自然に対する理解を深め美化意識を醸成し、自然環境を守るためアルミ缶やエコキャップの回収などを実践しています。また、西川中学校と合同で行っているアルミ缶などの



表彰状の伝達式

2月12日に伝達式が同校で行われ、同協会山形地方連絡会議主宰幹事の柿沢学さんから、児童会計画委員長の鈴木脩人さんに表彰状が手渡されました。鈴木さんは「先輩から引き継いできた活動が表彰を受け嬉しいです。美しい自然を未来につなぐため、これからも取り組みを続けていきたいと思えます」と話してくれました。

月山のある町
西川町で…(^^)/

我ら、地域おこし協力隊!!

私たちは都市部から西川町に移住してきました。この町に暮らしながら、地域行事に参加したり地域のみなさんとつながりながら、少しでも地域を元気にできたら…。そんな思いを抱きながら、自分の生きる道も探り続けています。そんな私たちが体験し感じたことなどを紹介します!



福田廣一編

今月は… 2月末になり、銀箔の綿毛状の新芽を出し始めて、春の訪れを告げています。みなさまいかがお過ごしでしょうか。もう少しですね、待ち遠しい春は。

今日は3月1日です。大井沢自然博物館・伝承館(学習センター1事務所)で一人、お別れの言葉をいたしました。早いもので任期の3年が過ぎようとしています。

4年前の平成30年2月17日の「自然学習センター(旧大井沢小学校利用)モデル事業 西川少年少女自然塾冬のプログラム合同開催―植物の不思議―」への参加を皮切りに、多くの春夏秋冬にかけての様々な学習センター主催のイベントを行ってき

ました。西川小学校の校外行事や朝日自然塾をはじめとする諸団体の自然に関わる活動など、様々なことを行ってきました。これらの体験は何物にも代えがたいものでした。何よりも多くの人々のご協力の元、センター行事が行えて来たこと、一緒に喜び合えた仲間がいたこと、本当にうれしく思います。ご協力いただいた皆様、喜びを分かち合えた皆様、本当にありがとうございます。心より御礼申し上げます。これからの博物館・伝承館・センターの発展を祈念しております。

ああ、3年前、武さんと遊歩道作りしたのが懐かしい。ゼンマイ採りも良かったね。みなさんお元気でーさようなら。お世話になりました。



第38回 西川町読書感想文・感想画コンクール



西川町の小学校・中学校の児童生徒を対象に、読書を通じて得た想いを、小学校低学年は絵画を描き、小学校
中学年以上は感想文を綴る本コンクール。読書を通じて得た知識や感銘を自分の生活と照らし合わせ、心を
磨き、自分を見つめることで「考える力」「表現力」を育むことを目的に、西川町教育委員会と町立図書館が募
集しているものです。

今年度は82点の応募作品の中から、最優秀賞3点、優秀賞7点、佳作6点が選ばれ、表彰されました。

最優秀賞

▶第1部門(小学生低学年・感想画)

▷かわいいイグアナとおさんぽ
奥山結愛良(海味・小2)

▶第2部門(小学生中高学年の部・感想文)

▷サメのひみつ
菅野耀太(海味・小4)

▶第3部門(中学生の部・感想文)

▷世界から私が消えたなら
黒坂舞(間沢・中1)

※最優秀賞の感想画と感想文は次ページに掲載

優秀賞

▶第1部門

▷きょうりゅうと 車
阿部奏人(海味・小1)
▷楽しいハンカチ
太田詩(睦合・小2)

▶第2部門

▷アインシュタインを読んで
飯野晴久(吉川・小5)
▷義の武将直江兼続
岡田蒼維(沼山・小5)
▷命の大切さ
飯野翠(海味・小6)

▶第3部門

▷命のおもさ
工藤成珠(睦合・中1)
▷犬と私の10の約束を読んで
佐藤美緒(睦合・中3)

佳作

▶第1部門

▷水しぶきが ばっしゃん
古沢想愛(海味・小1)

▷ぼくと きょうりゅう
松田伊織(海味・小1)

▷あらしで大こんらん ステゴサウルス
秋場悠晴(睦合・小2)

▶第2部門

▷ざんねんないきもの事典を読んで
因幡祐法(海味・小3)

▷ヘレンさんの想像力
奥山実咲(海味・小4)

▶第3部門

▷強い自分へ
太田絢斗(海味・中2)

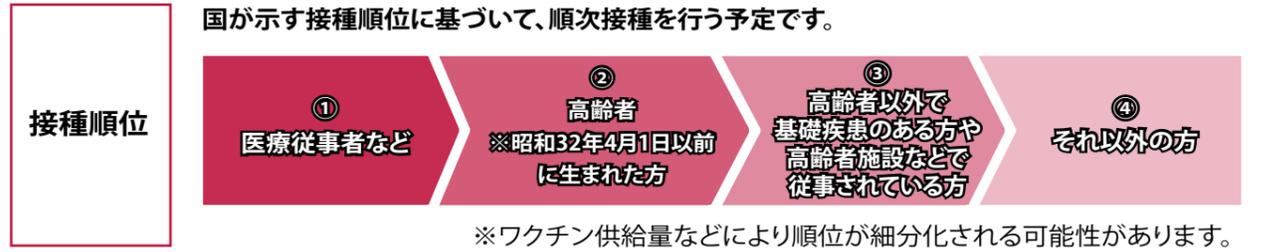
※敬称略



新型コロナウイルスワクチン接種について

新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生を減らし、感染症のまん延防止を図ることを目的に
ワクチン接種を行います。町では2月15日に新型コロナワクチン接種対策室を設置し、国からの指示に基づい
て、町民の皆さんが円滑にワクチン接種を行えるよう、準備を進めています。

なお、今回の情報は現在国から示されている情報を元に掲載しています。今後の状況により変更になる場合
があります。詳細が決まり次第、お知らせや町ホームページなどでお知らせしていきます。



接種回数	2回接種 (同じ種類のワクチンを一定期間空けて接種します。)	接種対象	16歳以上	接種費用	無料
------	-----------------------------------	------	-------	------	----

接種場所
原則として住民票所在地の市町村
本町では保健センターと町立病院での接種を予定しています。接種するワクチンの種類などにより会場を変更する場合があります。なお、入院・入所中などのやむを得ない事情がある場合は、住所地以外でも接種を受けられる予定です。

- 接種までの流れ**
- 3月下旬以降、高齢者から順に「接種券(クーポン券)」が郵送されます。接種まで大切に保管してください。
 - 接種日時や手続きについて通知が届きますので、案内に従って予約してください。
 - ワクチン接種を受ける際は「接種券」と「予診票」「本人確認書類」(運転免許証や健康保険証など)を持って会場へ向かってください。

お問い合わせ

ワクチン接種の予定や方法、手続きに関すること
…………… 西川町新型コロナワクチン接種対策室 ☎ 0237-85-0223

ワクチンの効果や基礎疾患に関すること、医学的な質問
…………… 厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター ☎ 0120-761770

必ず接種を受けなければならないの？
強制ではありません。予防接種による感染症予防効果と副反応(発熱や注射した部位にしこりができるなど)のリスクについて理解した上で、希望する方に接種を受けていただきます。

小学生の部(低学年・画)
最優秀賞



かわいいイグアナと
おさんぽ

奥山結愛良(2年・海味)

書名/ハンカチ友だち
著者/ながわちひろ
出版社/アリス館



「この本の表紙を見て、ぼくはわくわくしました。この本を読めば、サメのひみつがくわしく知ることができそうだなと思いました。」

ぼくが一番おもしろかったのは、「危険なサメナンバーワン」のページです。船や人間をおそう事故の記録が多いサメは、ホホジロサメです。ぼくが一番調べてみたいサメです。近づかなければ、こうげきをしないサメが多いのですが、ホホジロサメが、なぜ人間をおそうのか、ぼくは不思議に思っていました。この本を読んで、そのひみつを知ることができました。ホホジロサメは、好物のえものであるアザラシやオットセイとまちがえて人間にかみついているということが分かりました。かみついたら、味のちがいに気付いて、はき出すこともあるそうです。

ホホジロサメの上あごの歯はのこぎりのようにギザギザになっています。肉や筋肉をかみ切るのに適した形になっています。サメの歯は、人間の歯とちがいで、ぬけてもいくらずも生えてくるということばよ

く知られています。でも、どんな仕組みになっているのかは知らない人も多いと思います。サメは、新しい歯があごの肉の中に何列もうまっています。次々に入れかわる仕組みになっていることを、ホホジロサメの歯の写真やあごの断面図を見てくわしく知ることができました。

ぼくが一番おどろいたのは、サメが人間には無い第六感を持っていることです。電気と磁力を感じることができそうです。サメが、えものを見つけるのに使う感覚は、まづは聴覚です。水の中では、空気中の約四倍のスピードで音が伝わるということもおどろきました。次は嗅覚。プールに数滴の血をたらしただけでもそのにおいをかぎ分けることができるそうです。サメの目のつくりは人間とほぼ同じですが、海の中では視覚はあまり重要ではないそうです。最後は、第六感です。にごった水の中や海底、岩かげなどにかくれたえもの位置を知るのが役立つそうです。サメの吻の先(鼻の先)にゼリー状のものがつまっています、この部分を

「ロレンチーニびん」といい、ここで電気と磁力を感じることができるとびんがびんくりにしました。

ぼくは生物学者になり、研究を進めたいです。もしかすると、まだ知られていない新種のサメが見つかるかもしれません。まだ知られていないひみつが分かるかもしれない。ぼくは海だけではなく、陸や空など、くらす場所がちがう様々な生き物にきょう味を広げていきたいです。そして危険な生き物の事を知って、人も生き物も安全に暮らせるように、研究をがんばりたいと思います。

書名/「かわいい!強い!サメ大図鑑 海の王者のひみつがわかる」
大図鑑 海の王者のひみつがわかる
著者/田中 彰
出版社/PHP研究所



小学生の部(中高学年・文)
最優秀賞



サメのひみつ
菅野耀太(4年・海味)

ぼくのゆめは生物学者になることです。ぼくは、様々な生き物の図かんを見るのが大好きです。ぼくが特に好きな生き物は、サメです。図書館で、「かわいい!強い!サメ大図かん海の王者のひみつがわかる」と

「プレゼントは、ものそのもの、意味があるのではなく、選んでいるとき、相手が喜ぶ顔を想像するその時間」に興味がある」

「ちょっと読んだだけでも、心に響く、グツとくる言葉が次から次へと目に飛び込んでくる。その中でも私の胸に突き刺さった言葉がこれだ。」

「家族って『ある』ものじゃなかった。家族は『する』ものだったんだ」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

「この世界にはたくさんの残酷なことがある。でもそれと同じくらい美しいものがあるんだ」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

「世界にはたくさんの残酷なことがある。でもそれと同じくらい美しいものがあるんだ」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

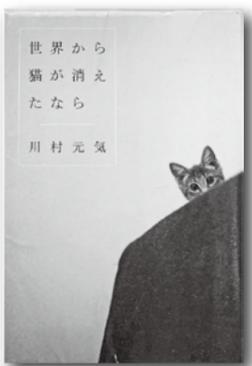
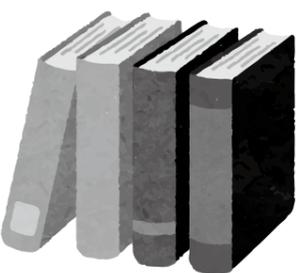
「世界にはたくさんの残酷なことがある。でもそれと同じくらい美しいものがあるんだ」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

「世界からお父さんが消えたなら、家は確実に火の車状態になるだろう。お母さんは女手一つで四人の子供を育てることになる。それに妹のお風呂や食事の盛り付け、皿洗いなどの本来私がやるべきである手伝いを、仕事帰りの父がやっているのにも気づいた。申し訳ないのと同時に、父の偉大さを思い知った。」

「世界にはたくさんの残酷なことがある。でもそれと同じくらい美しいものがあるんだ」



書名/世界から猫が消えたなら
著者/川村 元気
出版社/小学館

適切な運動指導で健康づくりを応援します!



伊藤貢さん

お元気ですか?

まちの保健室から PART 275

今回は太ももの内側の筋肉や腰から胸・腕までの側面を伸ばす運動(ストレッチ)です。痛気持ち良いところで、力を抜いてゆっくり15秒数えます。2~3セット行いましょう。

●ポイント 呼吸に意識を向けてみましょう。



息を吐くと体が少し下がります。(胸がしぼむ様なイメージ)



息を吸うと体が少し持ち上がります。(胸が膨らむ様なイメージ)

○注意点:柔軟性には個人差があります。関節可動域制限がある方や体が硬いと感じる方は、ご自身の体に合わせて、無理のない体勢に調節してください。

※痛みは、体からの赤信号のサインです。体に痛みを感じた時は運動を中止してください。

まずは運動・スポーツを楽しんで! 2月25日にスポーツ庁が発表した、令和2年度「スポーツの実施状況等に関する世間調査」では、成人の週1日以上週3日以上でのスポーツ実施率は前年度よりも増えたという結果でした。そして、「1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度は増えた」と答えた方の約8割が「ウォーキング(散歩含)」を実施しているとのこと。スポーツと言われると、やや抵抗を感じてしまう方もいらっしゃると思いますが、スポーツのWeb広報マガジンでは「スポーツは人生を楽しく、健康的で生き生きとしたものにするために、より楽しむために勝利を追求するもよし、自分のペースで楽しむもよし、誰もが自由に身体を動かす、自由に挑戦し、楽しめるものであるべき」とあります。天気の良い日はウォーキングや散歩、自宅ではストレッチなど、気軽に気晴らしができる運動・スポーツに取り組んでみましょう。

3 人仲良く健やかに

第3子誕生、おめでとうございます!

今年度4人目

▶土田健吾さん、恭子さんご夫妻(海味)に12月18日、第3子となる湊奈ちゃん(みおな)が誕生しました。

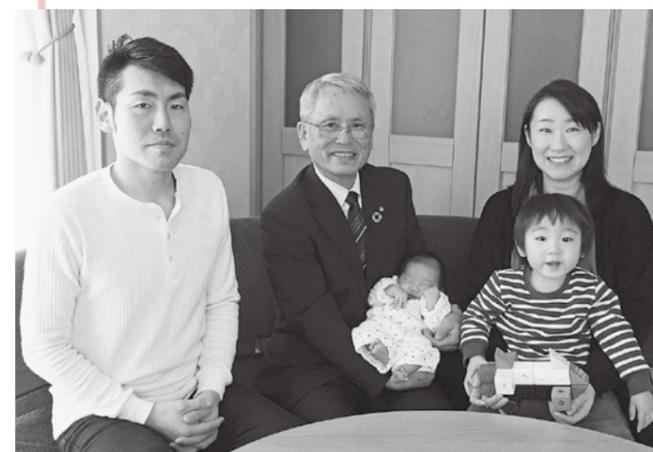
2月7日、小川町長が土田さんのお宅を訪ね、お祝い金を贈呈しました。

湊奈ちゃんが誕生し家中が賑やかになった土田さん宅。長女の瑞奈さん(みずな・17歳)は両親と一緒に字画などを調べたりしながら



名前を考えてくれたそう。長男の湊心くん(みなみ・2歳)も湊奈ちゃんがかわいくて仕方がないようで、ずっと側にいて、一緒に寝てしまっていることもあるそうです。

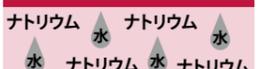
父の健吾さんは「まずは健康に、丈夫に育ててくれるのが一番の願いです」と笑顔。母の恭子さんは「兄姉も喜んで一緒に遊んでくれたり、面倒を見てくれて嬉しいです。3人仲良く成長してくれるのが楽しみです」と優しく微笑んでいました。



1 食塩をとりすぎると血液中にナトリウムが過剰に取り込まれる。



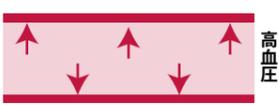
2 体はナトリウム濃度を一定に保つため、血液を水でうすめる働きをする。



4 高血圧になると血管が傷つき、動脈硬化を進行させる。

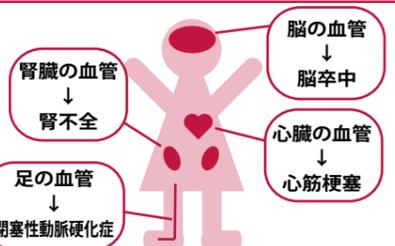


3 血液量が多くなり心臓に負担が。血管にも強い圧力がかかり、高血圧を招く。



命にかかわる病気に!

動脈硬化は心筋梗塞や脳卒中など命にかかわる病気を招きます。



食で健康・元気!

毎月19日は「減塩・野菜の日」
食生活を見直す日として、食塩マイナス1g
・野菜プラス1皿を心掛けましょう。



塩分のとりすぎに注意を!

食塩は人間にとって大切な栄養分ですが、とりすぎると高血圧や様々な生活習慣病のリスクが高くなります。左図のように食塩のとりすぎは高血圧→動脈硬化→心臓病・脳卒中につながります。

日本人の1日あたりの食塩目標摂取量
男性7.5g未満 女性6.5g未満

減塩することで高血圧の予防・改善だけではなく、胃ガンの予防などにもつながります。

入館の際、体温測定をお願いします

図書館に非接触型体温測定器「サーモマネージャー」を設置しました。安心して図書館をご利用いただくため、体温を測定してから入館いただくよう、お願いします。



3月のおはなし会のお知らせ

☆会場: 西川小学校図書館
☆3月27日(土) 午前10時30分~

内容

かわにくまがおっこちた

パンダ銭湯

●えほん... かものはしくんのわすれものぶたくんと100ぴきのおおかみ

●パネルシアター... あしあとみつけた!

参加を希望する方は3月19日まで図書館(☎85-0077)にご予約をお願いします。

雑誌紹介⑦ やさい畑

「やさい畑 2021年春号」

ポカポカ陽気が続き、雪が解け始めると気になるのは畑のこと。やさい畑2021年春号の特集は「とことんやさしい豊作仕立て」です。伸ばすべきを伸ばし、切るべきを切る「仕立て」が豊作の王道。取り除く枝を見極め、株姿を整えていけば1株の収穫を2倍以上にするのも夢ではありません(本文より)。

これを読めば大豊作も夢ではない!。他にも「多年生雑草のやっつけ方」や「循環菜園のすすめ」など、畑に関するマル得情報が満載です。



図書館さあ、いざいざ!



楽しい本がたくさん
みんな集まれ!



町内産業の発展に長年の貢献！ 令和2年度永年勤続優良従業員表彰式

2月10日、「令和2年度永年勤続優良従業員表彰式」が町商工会館で開かれ、38年勤続の国井新一郎さんと35年勤続の菅野喜章さんに町から感謝状が、41年勤続の宇佐美隆さんはじめ7人に町商工会から表彰状が贈られました。

町感謝状

- ◆38年勤続 国井新一郎さん（国井商店）
- ◆35年勤続 菅野喜章さん（遠藤建設株式会社）

西川町商工会表彰

- ◆41年勤続 宇佐美隆さん（株）佐藤建設
- ◆30年勤続 齊藤恵美子さん（株）黒坂商店
- ◆26年勤続 後藤留美さん（株）佐藤建設
- ◆25年勤続 鈴木義彦さん（オクヤマ塗装）
- ◆10年勤続 阿部拓馬さん（月山観光開発株式会社）
- 春日美斗さん（有玉谷製麺所）
- 井上志穂さん（有玉谷製麺所）

わいわい ひろば 第118号

保育の理念：子どもに愛と生きる力を

- 保育目標**
- 雪のようにきらきら輝く子
 - 緑のようにやさしくあったかい子
 - 太陽の様につよくたくましい子

- 大切にしていること**
- ★しっかりと見つめること
 - ★ぎゅっとハグすること
 - ★自分の興味を満喫させてあそぶこと
 - ★思いっきりカラダを動かすこと
 - ★大人みんなで精一杯愛すること
 - ★大人も育つこと

保育園コーナー

「おひな様飾り」
ちよっぴりドキドキ、ちよっぴりワクワクのお手伝い

にしかわ保育園には、旧保育園時代から大切に引き継がれ、子どもたちを見守ってきた立派なおひな様があります。毎年、年中児の子どもたちが、ひな人形飾りの担当です。ひな人形飾りのお手伝いをしてくれた年中さんは、人形やお飾りを、落とさないように両手で丁寧に持って、そろりそろりと運んでいました。女の子の成長を見守ってくれるひな人形。日本古来の文化に触れる経験を大切にしていきたいと考えています。保育園内には子どもたちが手作りしたひな人形も飾られており、遊戯室に続く廊下は、にしかわ雛街道のように、とっても華やかです。



落とさないように気をつけて



これはどこに飾るのかな



ひな飾りを手伝う年中さん



3月3日にはお茶会を楽しみました



個性あふれる人形にほっこり



手づくりのひな人形が展示されました



ぱくぱくルームの様子

ぱくぱくルームコーナー

2月24日に「離乳食について」と題し、『ぱくぱくルーム』を開催しました。町の管理栄養士を講師に招いて、離乳食の進め方や調理のポイントなどについてお話を聞きました。専門家からのアドバイスに、熱心にメモを取りながら耳を傾ける参加者の姿がみられました。今年度の子育て支援センターぱくぱくルームは今回で最後になります。たくさんの方に追加いただきありがとうございます。

板坂賢二さんが地賞に輝く

やましん俳壇年間賞



身近な話題や情報をお寄せください。
役場政策推進課情報推進係まで！ ☎74-4403
joho@town.nishikawa.yamagata.jp

ふるさと西川町をより身近に…

進学により町を離れて暮らす学生の皆さんに無料で「町報」と「お知らせ」をお届けします。希望される場合は電話かFAX、メール、役場窓口で転出の手続きをする際などにお申し込みください。



申し込みの際に必要な事項：①氏名②年齢（生年月日）③住所（お届け先住所）④学校名⑤電話番号
申し込み・お問い合わせ：政策推進課情報推進係
Tel: 0237-74-4403 Fax: 0237-74-2601
Mail: joho@town.nishikawa.yamagata.jp
※町報は町ホームページにも掲載しています。



山形新聞が募集する「やましん俳壇」で、板坂賢二さん（俳号「板坂歩牛・間沢」）が、選者三井量光さんの選ぶ年間賞「地賞」に輝きました。板坂さんが本格的に俳句を作り始めたのは10年ほど前。思いついた句をメモ帳に書き留め、その中から推敲した作品をほぼ毎週応募しています。平成24年には「人賞」に選ばれました。また、板坂さんは川柳も楽しんでおり、今回選ばれた作品でも川柳の視点が活かされた、独自の展開が高く評価されました。板坂さんは「受賞できると思



板坂賢三さん

わなかったのが本当に嬉しく思っています。最高賞となる「天賞」受賞や全国規模の俳句大会での入賞を目指し、今後腕を磨いていきたいです」と話してくれました。

本町で活躍中の本坊元児さんを紹介

山形県住みます芸人の本坊元児さん

本町で耕作放棄地の再生や地産地消に取り組む、吉本興業山形県住みます芸人のソラシド本坊元児さんを紹介いたします。

本坊さんはテレビやラジオなどで活躍する傍、耕作放棄地となっていた20アールの畑を借りて大根やニンニクの栽培を行なっています。初めは趣味として葉物野菜などを育てていましたがうまくいかず、地域の方のアドバイスを受けて大根やニンニクの栽培を始めました。

最近ではその様子が全国放送のテレビ番組でも紹介され、注目を集めています。



雪の下から大根を掘り出す本坊さん

本坊さんは「地域の方の協力もあり立派な大根が収穫できて、大変好評でした。今後は竹林の管理を兼ねて竹炭づくりなどにも挑戦してみたいです」と話してくれました。

未来の名選手誕生を願って…

西川町バレーボール協会が寄贈

次世代のバレーボールプレイヤー育成に役立てたいと、西川町バレーボール協会（会長 日塔邦昭さん・間沢）から西川中学校の男子・女子バレーボール部に、トレーニング用品一式が贈られました。

2月28日、町民体育館で寄贈式が行われ、同協会理事長の荒木良弘さん（間沢）が「先輩方の強くなって欲しいという応援が込められています。少数精鋭のチームになるが、トレーニングで強豪に負けない力をつけてください」と激励し、トレーニング用品を手渡しました。



中学生選手のレベルアップを願い寄贈

リサイクル活動で車いすを寄贈

西川小・中学校車いす寄贈式

2月9日、西川小学校と西川中学校からケアハイツ西川に車いす1台が寄贈されました。

この車いすは両校が合同でブルタブやアルミ缶の回収活動に取り組み、リサイクルで得た収益金で購入したものです。

寄贈について西川小学校の菅野崇太さん（小6・間沢）は「足腰が不自由な方に車いすを利用して安全に生活して欲しいです」、西川中学校の渋谷竜聖さん（中3・海味）は「コロナ禍で目標が集まるか心配しましたが、無事に寄贈できてよかったです」と話してくれました。



西川小学校で寄贈式が行われた

町の社会福祉充実に役立てて

J A さがえ西村山から寄付金

2月9日、社会福祉の充実に役立ててほしいと、さがえ西村山農業協同組合から町に14万円を寄付していただきました。

寄付金は昨年12月に開催した人形供養祭で供養費として募ったもので、同組合では2016年から西村山管内の1市4町に順番に寄付しています。

当日は安孫子常哉組合長が役場を訪れ「有効に活用してください」と小川町長に寄付金を手渡しました。

いただいた寄付は除雪や見回り、灯油の購入費助成など高齢者福祉に活用します。



寄贈式の様子

やったね！ むし歯ゼロのお友だち

2月10日に行われた3歳児健診の歯科検診で「むし歯0」だった子どもたちを紹介します。

「歯磨き」はむし歯を防ぐために大切な習慣です。嫌がった時に押さえつけるなどして行うと歯磨きが嫌いになってしまいます。ほめてあげたり、歌を歌ったりするなどして、楽しく毎日の歯磨きを習慣づけしていくことが大切です。



荒木蒼雅（間沢）
そうがくん

しっかり歯みがきで
健康な歯を守ろう！



豪雪の西川でスキーを初体験

ベトナムからの研修生がスキー体験

この冬、西川町で暮らすベトナム人研修生の皆さんがスキーを体験しました。

これは研修生が暮らす下堀町内会の方が、雪の降らないベトナムからやってきた研修生に西川の冬を楽しんでもらおうと企画。スキー用具の準備や指導の面で月山スキークラブからの協力を得て実現したものです。

同クラブメンバーの熱心な指導もあり、6回の講習会を受けた研修生の皆さんは、町民スキー場の上級コースを滑れるほど上達。笑顔でスキーを楽しんでいました。



初めてのスキーを楽しんだ

スノーランドで楽しむ雪遊び

海味第1子ども会行事

2月20日、海味第1子ども会の皆さんが、今シーズン弓張平にオープンした月山スノーランドで雪遊びを楽しみました。

当日は約25人の親子づれが参加し、約100mの専用コースを滑り降りる「チュービング」や雪上をスノーモービルで牽引する「バナナボート」などのスノーアクティビティを体験しました。

参加者の皆さんは普段は体験することできないダイナミックな雪遊びを親子で満喫。広々とした雪原に大きな歓声が響いていました。



スリル満点のアクティビティに歓声が響き渡った

会員の成長の歩みが一冊に

せせらぎ俳句会が合同句集発刊

この度、せせらぎ俳句会の合同句集「せせらぎ」第12号が発刊されました。

今回の句集はせせらぎ俳句会とあいべ俳句会が一つになって初の句集。毎月行なっている俳句会で詠んだ句の中から、9人の会員が自信作40句を選び掲載しています。

会長の工藤健一さん（吉川）は「西川町は江戸時代から明治にかけて俳句が盛んな地域でした。これからも仲間を増やしなから、歴史ある西川町の俳句文化をつないでいきたいです」と話してくれました。



せせらぎ俳句会の皆さん

